

チェロ
林 峰男

マンドリン
肝付兼美

ギター
毛塚功一

3人のヴィルトゥオーゾによる コンサート

Program

第1部

1. 前奏曲 第5番/R.カラーチェ 【マンドリン独奏】
2. アラビア風奇想曲/F.タレガ 【ギター独奏】
3. 文楽/黛敏郎 【チェロ独奏】
4. ブレスカ/S.ラニエーリ 【マンドリン、ギター二重奏】
5. オペラ『はかなき人生』より
スペイン舞曲 第1番/M.デファリャ
(編曲：毛塚功一) 【チェロ、ギター二重奏】

第2部

- 【マンドリン、ギター、チェロ三重奏】
1. シャコンヌ/ニ橋潤一
 2. 創作三重奏曲 第1番/C.ムニエル

2015年 3月20日(金) 開場 18:30
開演 19:00

ザ・ルーテルホール

札幌市中央区大通西6丁目 Tel: 011-251-1311

地下鉄『大通駅』より徒歩5-7分

●全席自由席 前売 ¥3,500 当日 ¥3,800

・チケット取扱：井関楽器 Tel: 011-214-8833
・主催：「3人のヴィルトゥオーゾによるコンサート」実行委員会
・後援：札幌市/札幌市教育委員会
お問合せ Tel: 090-6215-0685 (田中) e-mail: kmasa@k6.dion.ne.jp

[PROFILE]



林 峰男 Mineo HAYASHI : Violoncello

幼少よりチェロを才能教育で学ぶ。桐朋学園にて齋藤秀雄氏に師事。その後、ジュネーブ音楽院を第1位で卒業。翌年スイスのローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてヨーロッパにおいてデビューを飾った。1975年、ヘオグラード国際チェロ・コンクールで第1位に輝く。1976年にはワシントンD.C.とニューヨークのカーネギー・ホールでリサイタルを開き、アメリカ・デビューを果たした。カーネギー・ホールのリサイタルはニューヨークタイムズが絶賛した。また翌年にはスペインで開催された『カザルス生誕百年記念コンサート』に招待され、日本を代表するチェロ奏者として高く認知された。1976年以降、スイス・ロマン管弦楽団、ザグレブ・フィルなど数々のオーケストラと共演する一方、室内楽、リサイタルなど数多くの演奏会を、スイスを本拠地としながらドイツ、フランス、オーストリア、スペイン、イタリア、ベルギー、チェコ、アメリカ、イギリスなど世界各地で開いている。日本へは毎年定期的に帰国し、全国各地で積極的な演奏活動を行っている。オーケストラも、これまでに新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京シティ・フィル、大阪フィル、関西フィル、札幌交響楽団、群馬交響楽団、ロイヤルメトロポリタン管弦楽団、ロイヤルチェンバーオーケストラ等と共演している。この間、1985年にはバッハ生誕300年を記念して『無伴奏チェロ組曲全6曲』を一夜で演奏するという画期的な演奏企画で、全国17カ所・日本縦断コンサートを行い、脚光を浴びた。また、栃木県大谷石洞窟内で月光を受けながら行った二夜連続の演奏会は、毎日新聞にも取り上げられ大きな反響を得た。京都・常寂光寺、東京・増上寺（開基600年記念）の本堂でリサイタルを行い、当日会場を埋め尽くした満員の聴衆に深い感動を与えた。無伴奏のチェロ曲を集めたCDも欧州と日本で発売され、音楽専門誌『レコード芸術』『音楽の友』で高く評価され、現在でも隠れたベストセラーとなっている。1995年にはカザルスホールにおいて『デビュー20周年4日連続演奏会』を開催。ピアノの園田高弘氏との共演をはじめ、無伴奏リサイタル、オーケストラとの共演、チェロ・アンサンブルという多彩な内容は朝日新聞でも大きく取り上げられ、連日ホールを満席にした。今後ますますの活躍が期待される、日本の代表的チェロ奏者の一人である。現在、国際スズキメソード音楽院教授を務めるなど、後進の指導にも力を注いでいる。



毛塚 功一 Kouichi KEZUKA : Guitar

6歳からギターを始め、8歳で菅ノ又信太郎氏に師事。1977年、第3回東北ギターコンクールで第1位入賞。1978年、日本ギタリスト協会主催第9回新人賞選考演奏会（現・クラシカルギターコンクール）で新人賞（第1位）を受賞。同年、東北ギター音楽協会より「沢口賞」を受賞。その後、湯下節男氏の指導を受ける。1979年、上京し久坂晴夫氏に師事。1982年、東京でデビュー・リサイタルを開催したのを皮切りに、全国各地で本格的なソロ演奏活動に入る。1995年、東京ギターカルテットを結成し、第1ギターを務める。これまでに、Lブローウェル、Rディアンズの両氏およびロサンゼルス・ギター・カルテットから指導を受ける。ソロ活動以外にも実力を発揮し、室内楽をはじめ、フルート、マンドリン、声楽の伴奏や録音も務める。また、数々のオーケストラとジュリアーニのギター協奏曲、アランフェス協奏曲でたびたび共演している。CDは、「愛の歌/ギター名曲集」「ソル/練習曲集 作品 6&29」「タレガ/前奏曲、練習曲集」「青の風景/東京ギターカルテット」「おもいで/東京ギターカルテット」「四大元素/東京ギターカルテット」など12タイトルを発表。曲集では『日本の歌』『マイナスイオンギターデュオシリーズ』などが現代ギター社から発売されている。1989年より成城学園中学非常勤講師。現在、日本ギタリスト協会委員。



肝付 兼美 Kanemi KMOTSUKI : Mandolin

慶應義塾大学卒業。ミヤタ・マンドリンギター研究所マンドリン科卒業。宮田吉子、久保田 孝、神戸愉樹美の各氏に師事。1992年まで、様々なマンドリン・オーケストラに服部 正、山本直純、今村 能、現田茂夫、山下一史、梅田俊明らの各氏の指揮のもと、コンサート・マスター等として出演。1995年、NHK洋楽オーディションに合格。1997年、第7回全日本ソリストコンテストで弦楽器部門優秀賞（部門最高位）を受賞。1993年より2011年まで、全国のプロ奏者を集結したゴンドラ・マンドリンオーケストラに首席奏者として参加。1995年、NHK-FM「土曜リサイタル」にマンドリン独奏で出演。1998年より、東京、横浜、札幌、前橋など各地で、マンドリンのみならずマンドラ、マンドリンチェロのリサイタルをもそれぞれ開催している。1999年、協奏曲のソリストとしてマンドリン・オーケストラと共演。2003年、全曲無伴奏によるマンドリン・コンサートを開催。2003年以来、作曲家・野崎勇喜夫氏の新曲を4曲初演。2006年、青葉マンドリン室内楽団を結成、以来6年連続、前橋のマンドリン音楽祭に招聘された。2014年、ラニエーリのマンドリン協奏曲をオーケストラと共演。2001年と2002年に現代ギター社より発表されたCD 2タイトルは、音楽専門誌『レコード芸術』で準推薦を受け、現代ギター社Gショップでは並みいるギターのCDを抑えて数ヶ月間売上1位を記録した。2013年に発表された新作と共に、現在も好評発売中である。作曲家としては、1991年第5回日本マンドリン合奏曲作曲コンクールに入選。現在、日本音楽著作権協会（JASRAC）会員。1984年、ミヤタ・マンドリンギター研究所の講師に就任。1994年より同研究所公認のもと青葉マンドリン教室を主宰。1999年より現代ギター社G学院マンドリン科主任講師。後進の育成にも力を注いでいる。

チケットのお申し込みについて

- 下記の通り振り込みをお願い致します。
お振込先：郵便振込 記号19020 番号9544861 クマガイジュンシン
*通信欄に以下の項目を明記してください。
①チケットの内訳・・・例) 3/20 3人のヴィルトゥオーゾによるコンサート一般〇枚
②送付先のご住所
③ご連絡先・e-mail、お電話番号等、こちらからご連絡することが必要になった場合にご連絡する方法をお知らせください。
*お振込の際、通信欄に記入されなかった場合は、e-mailまたはFax.等で上記①～③をご連絡ください。
宛先：e-mail：kmasa@k6.dion.ne.jp Fax：011-631-8454
- お振込が確認でき次第、チケットを郵送致します。
※お振込からチケットの到着まで、10日程掛かる場合がございます。予めご了承ください。
※ご住所やご連絡先を正確にお知らせ頂けなかった場合、チケットをお送りできませんので、くれぐれもご注意ください。